




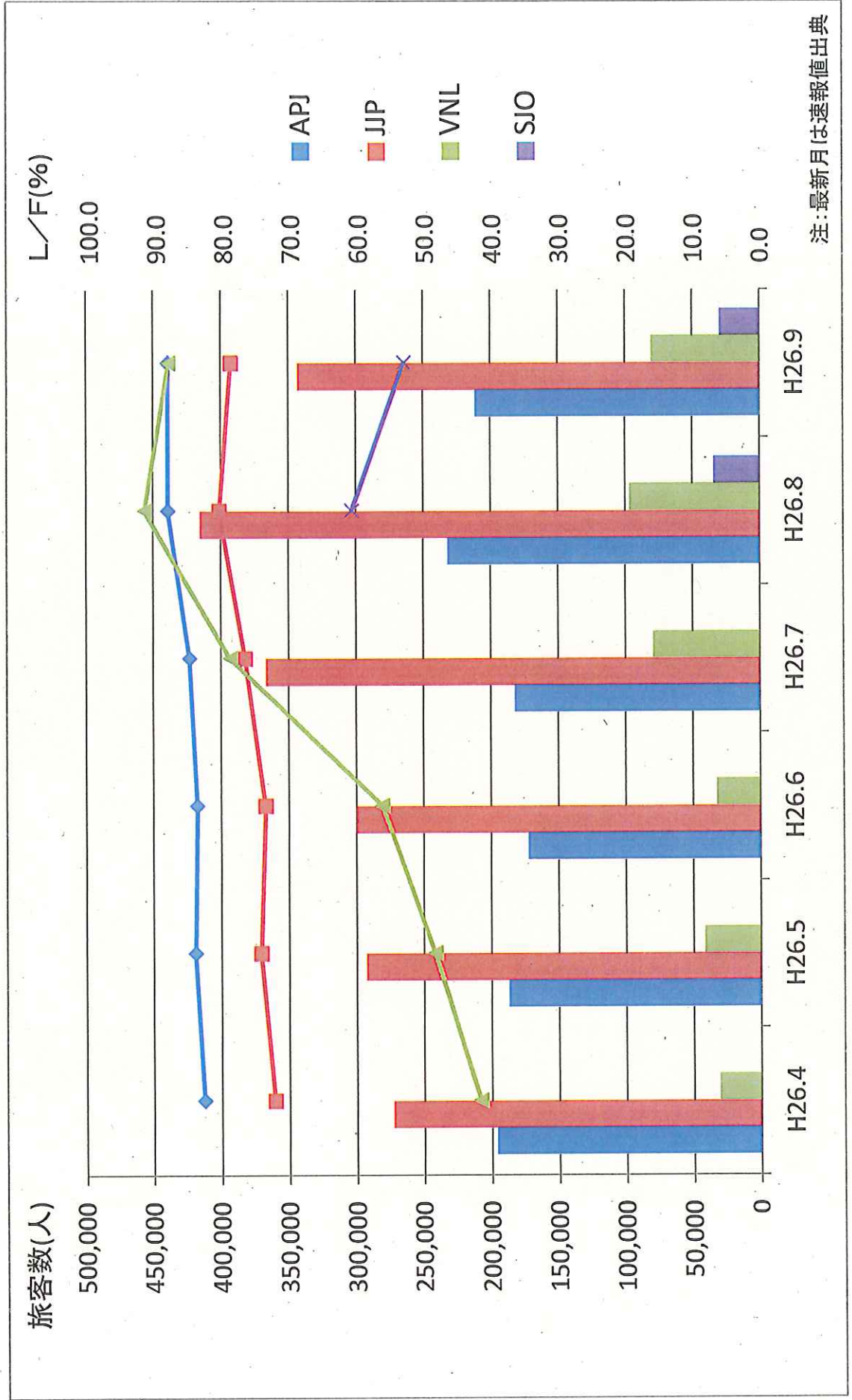
# 本邦LCC4社の概要

- ピーチアビエーションが平成24年3月から関空を拠点に運航開始し、5月には国際線にも参入。
- ジェットスター・ジャパンは平成24年7月3日から、エアアジア・ジャパンは平成24年8月1日から成田を拠点に運航開始。
- エアアジア・ジャパンは平成25年11月1日社名をバンラ・エアに変更し、12月20日から運航開始。
- 平成25年12月17日春秋航空日本(株)が航空運送事業許可取得。平成26年8月1日から成田を拠点に運航開始。

会社名	ピーチアビエーション(株)	ジェットスター・ジャパン(株)	春秋航空日本(株)
主要株主	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ANA ホールディングス38.7%</li> <li>・First Eastern -Aviation Holding Limited 33.3%</li> <li>・産業革新機構 28.0%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カンタスグループ 33.3%</li> <li>・JAL 33.3%</li> <li>・三菱商事 16.7%</li> <li>・東京センチュリーリース 16.7%</li> </ul> <small>※比率は議決権ベース</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春秋航空股份有限公司 33.0%</li> <li>他</li> </ul>
拠点空港	関西国際空港、那覇空港	成田国際空港	成田国際空港
使用機材	エアバスA320-200型機	エアバスA320-200型機	ボーイング737-800型機
運航路線	(国内線) 関西＝札幌、仙台、成田、松山、福岡、長崎、鹿児島、那覇、新石垣、那覇＝福岡  (国際線) 関西＝仁川、釜山、桃園、高雄、香港 那覇＝桃園	(国内線) 成田＝札幌、関西、高松、松山、福岡、大分、熊本、鹿児島、那覇 関西＝札幌、福岡、熊本、大分、那覇、中部＝札幌、福岡、熊本、鹿児島	(国内線) 成田＝高松、広島、佐賀
事業形態の特徴	ANAから独立した事業運営	JALから独立した事業運営	春秋航空(中国)のネットワークを活かした事業運営
			



# 最近の本邦LCC4社の運航状況

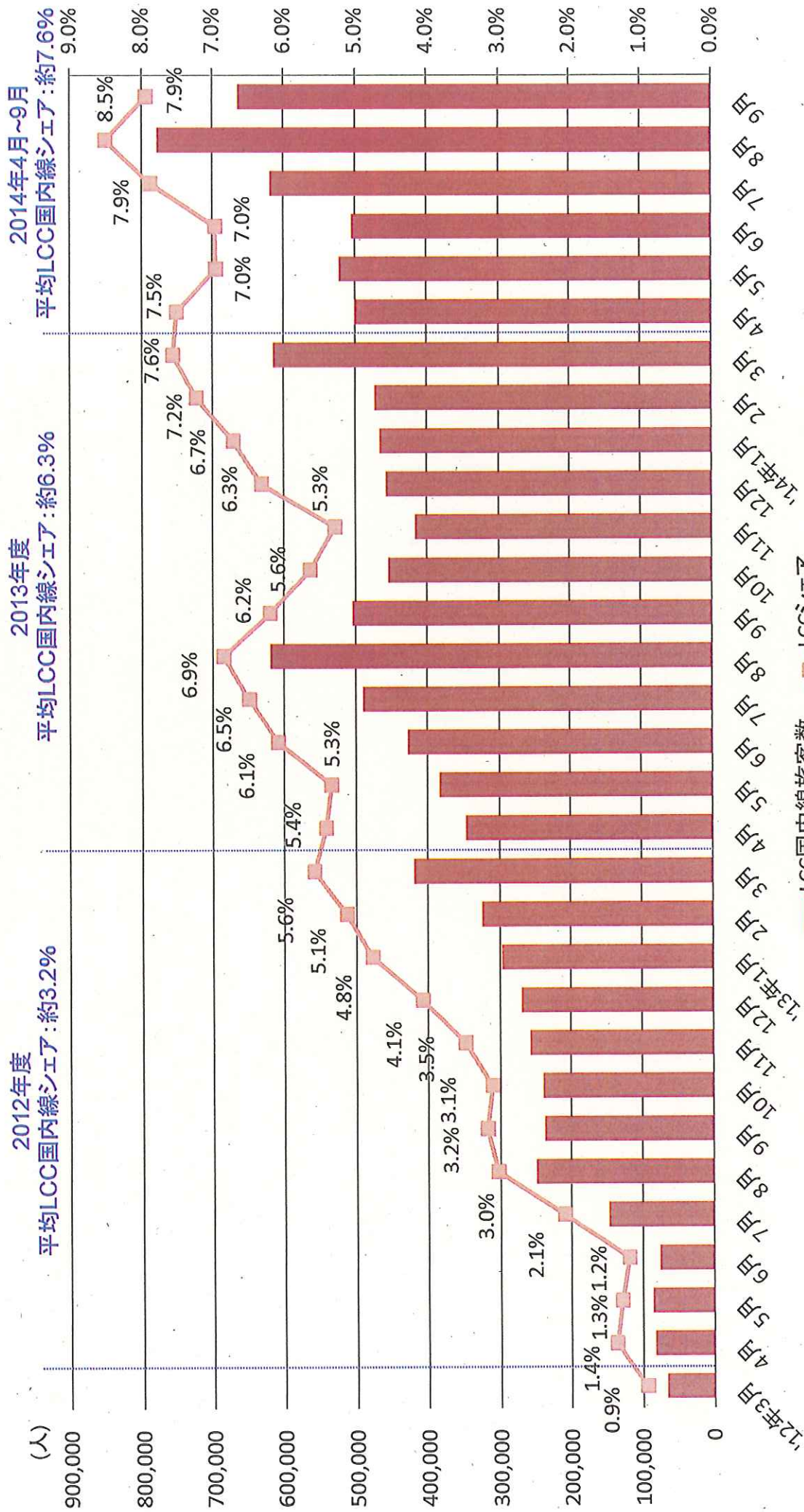


注:最新月は速報値出典

## 本邦LCC3社の決算状況

	ピーチ・アビエーション(株) (平成26年7月11日官報掲載)	バンラ・エア(株) (平成26年7月1日官報掲載)	ジェットスター・ジャパン(株) (平成26年10月10日官報掲載)
営業収入	305億円	65億円	290億円
営業費用	285億円	121億円	397億円
営業利益	20億円	▲56億円	▲107億円
経常利益	17億円	▲59億円	▲112億円
当期純利益	10億円	▲60億円	▲111億円

# 国内線LCC旅客数推移とLCC旅客数シェア

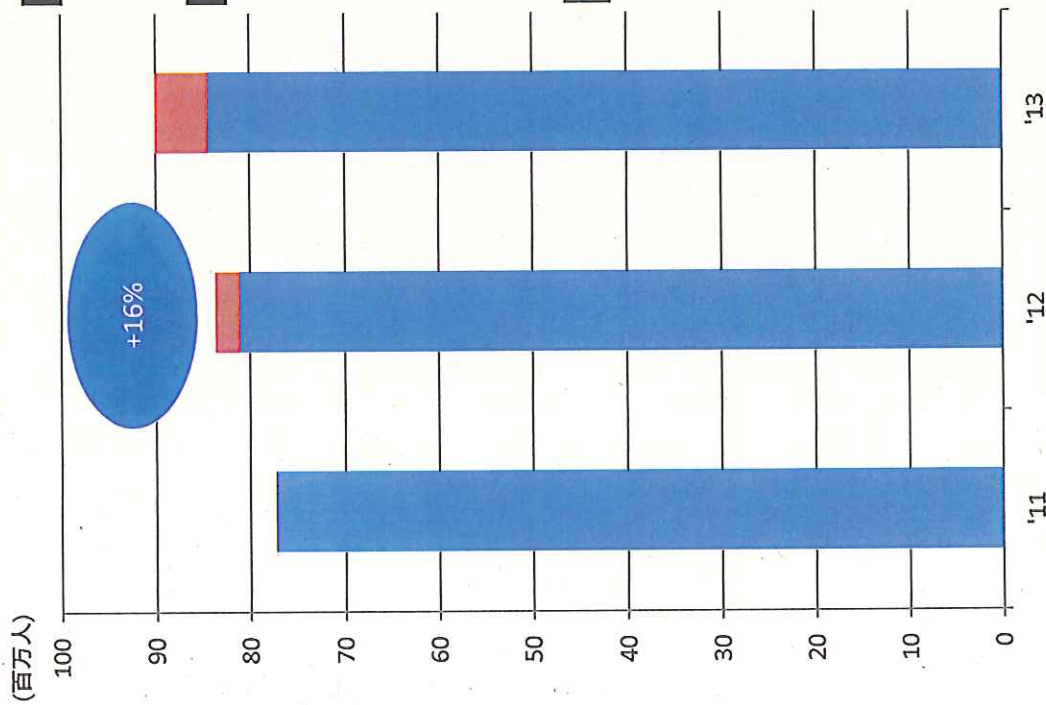


注: 最新月は速報値出典

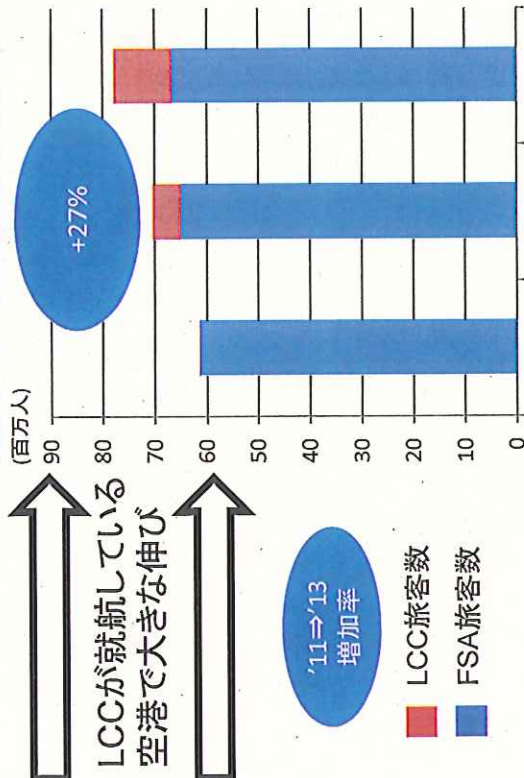


# 国内線旅客の推移：LCCによる影響

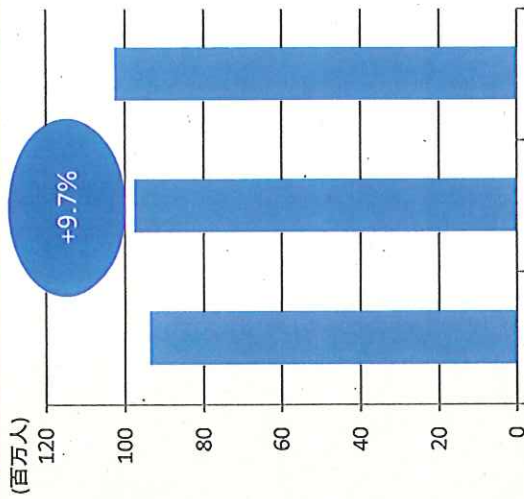
## 国内旅客数全体



## LCCが就航している空港



## LCCが就航していない空港



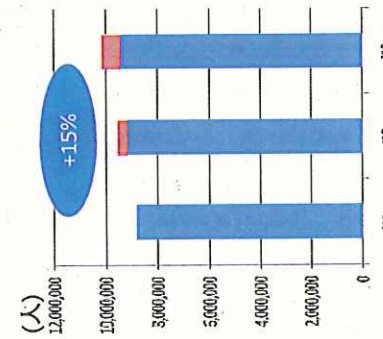
LCCが就航している  
空港で大きな伸び

'11⇒'13  
増加率

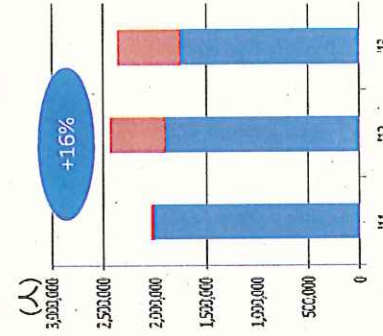
LCC旅客数  
FSA旅客数

## (参考)地域圏での比較

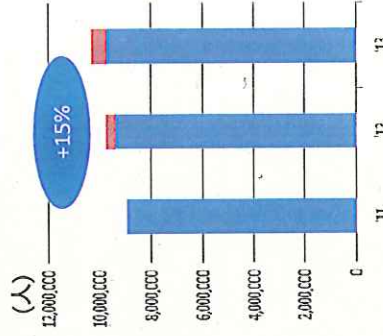
### 首都圏①-新千歳



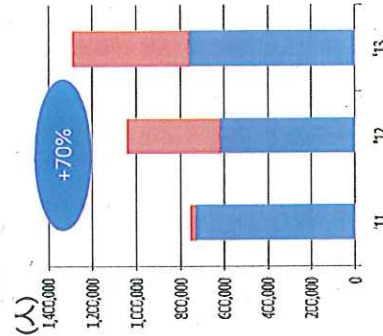
### 関西圏②-新千歳



### 首都圏①-福岡圏③



### 関西圏②-福岡圏③



注：LCCが就航している空港、していない空港は到着・出発を区別する為、国内全体旅客数の二倍の数字になっている

1. 羽田、成田が対象；2. 関空、伊丹、神戸が対象；3. 福岡、北九州、佐賀が対象



# 成田空港におけるLCC受け入れ体制の強化

## ① LCC専用ターミナルの整備

・LCCの受け入れ体制を強化するため、LCC専用ターミナル(第3ターミナル)を平成27年4月8日に供用開始。



## ② 深夜早朝の旅客受け入れ体制の充実

・早朝発のLCCに搭乗する旅客のニーズに応えるため、空港アクセスの利便性の向上や、空港内の滞在環境の向上に取り組んでいる。

### 空港アクセスの利便性向上

- LCCの乗り入れに伴い、格安高速バスが運行を開始。深夜早朝時間帯にも対応。
- 鉄道各社(JR・京成)においてもLCCの運航ダイヤを意識した運航ダイヤを設定。
- 成田空港内駐車場の早朝・深夜割引サービスを導入(2014年7月11日～)。また、成田空港内駐車場の24時間を超えた場合の駐車料金を細分化(2014年10月1日～)。

### 空港内の滞在環境の向上

- 空港内にカプセルホテルを開業。
- 各ターミナルビルのコンビニを24時間化。



## ③ その他

・平成25年3月31日より、航空会社の努力では対応できないやむを得ない場合には、23時から24時に限り離着陸を認める「カーフェューの弾力的運用」を開始。  
 ・これにより、最終便が欠航したり、目的地が成田空港以外に変更されていた便を救済。

